

取扱説明書

保管用



LEDペンダント(ダクトタイプ)

(ダクトレール専用)

ご使用になられる前に必ずお読みください

安全に関するご注意

この取扱説明書には取り付け方や交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。

この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

器具(簡易取り付け型、ダクトレール用、プラグ付きを除く)及び配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品名	光源色、色温度	適合ランプまたは光源ユニット	定格電圧	周波数	消費電力	調光
PD-2906-LL PD-2907-LL PD-2908-LL	電球色相当 2700K	LED 8.4W	AC100V (±6%)	50/60Hz	8.4W	EnOcean対応 (調光0~100%)

この取扱説明書のマークについて

- ▲警告 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
▲注意 説明書中の「注意」は、物損及び傷害事故の原因となる危険を示します。

取り付け・取り扱い上の注意

▲警告

定格電圧、周波数で使用してください。

★定格以外で使用すると、感電、火災のおそれがあります。
一般屋内器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。

★感電、漏電のおそれがあります。
サウナに使用しないでください。(サウナ対応器具は除く)

★器具破損によるけがや漏電、感電のおそれがあります。
不安定な場所や振動や衝撃の多い場所では使用しないでください。
取扱説明書および本体表示以外の取り付け方向には取り付けないでください。

★指定以外で使用すると火災や感電、器具落下によるけがのおそれがあります。

器具配線やコネクタなどを過度な力で引っ張らないでください。

★充電部露出による感電のおそれがあります。
電線を端子台に差し込む器具は、差込穴の奥まで確実に差し込んでください。

★不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。
ドライバーなどの異物は差し込まないでください。

★感電のおそれがあります。
器具の改造や構成部品の変更はしないでください。

★火災や感電のおそれがあります。

可動部(アームなど)に指を入れないでください。
★けがのおそれがあります。

▲注意

非調光仕様の器具は調光器を使用しないでください。
調光仕様の器具は指定の調光器を使用してください。
強い風を受けると、回転、転倒するおそれがありますのでご注意ください。
ランプ、光源ユニットを使用する器具は、必ず指定されたランプ、光源ユニットを使用してください。

★指定以外を使用すると、器具の故障や火災のおそれがあります。

この器具は周囲温度5℃~35℃の中で使用してください。
★指定以外で使用すると火災、短寿命のおそれがあります。

揮発性引火物のある場所には使用できません。

★火災のおそれがあります。
電動機等を使用する電源回路には、器具を接続しないでください。

★高調波と過度の電圧変動により火災、故障のおそれがあります。
直射日光の当たる場所に取付けの場合、風間は点灯させないでください。

★器具の短寿命、火災のおそれがあります。
温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。

★異常過熱によるカバーの変形や火災のおそれがあります。
器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあり、またリモコン機器(エアコンなど)が動作しにくくなる場合があります。

器具との距離を遠ざけてください。
付属の梱包材は取除いて使用してください。

★そのまま使用すると火災のおそれがあります。

本体、ランプの取り付け、交換などは必ず主電源を切って行ってください。電源の極性がある器具は、必ず極性を確認して接続してください。

★守らないと故障のおそれがあります。
布や紙、草木などの燃えやすい物を器具に被せたり、器具の近くで使用しないでください。

★火災、短寿命のおそれがあります。
点灯中や消灯直後のランプ、器具内には触らないでください。

★火傷のおそれがあります。
ランプを扱う器具は、ランプの取扱いを丁寧に行ってください。

特にランプホルダーからの着脱はご注意ください。
★乱暴に扱うと落下、破損のおそれがあります。

ヒビの入ったカバーや部品は使用しないでください。

★破損、落下のおそれがあります。
殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。

★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどのおそれがあります。

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8~10年後には外観に異常がなくても内部劣化が進んでおります。

★点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による)

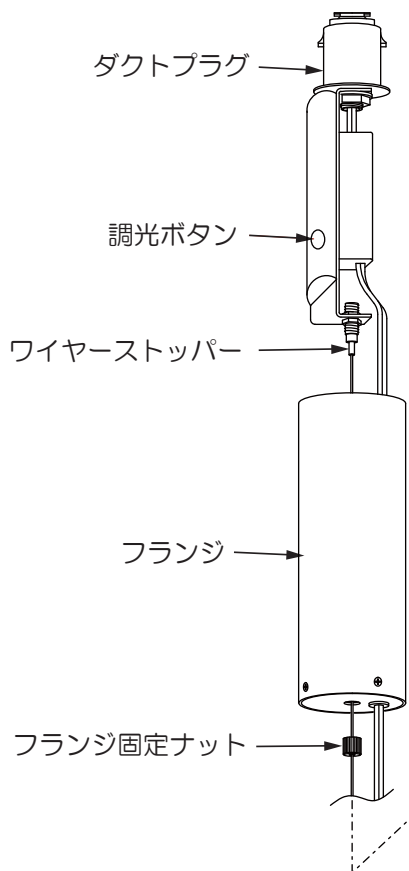
照明器具の留意点

- 次のような現象は故障や異常ではありません。ご了承ください。
 - 点灯中や消灯直後に発生するプラスチックなどの伸縮によるきしみ音 ・ 昼夜の温度差によるガラス内面に結露
- LEDの光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。十分にご注意ください。
- LEDにはバラツキがあるため、同品名商品でも色・明るさが異なる場合があります。
- 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
- 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく場合があります。
- 調光機器の特定の設定位置でちらつくことがあります。ちらつきの発生しない位置で使用してください。
- 位置表示灯付きスイッチと組み合わせた使用の場合、表示灯がちらついたり、まれにスイッチオフのときLED器具が消灯しないことがあります。
- 動作確認表示灯付きスイッチと組み合わせた使用の場合、消費電力が小さいため、表示灯が見えにくくなる、または点灯しないことがあります。

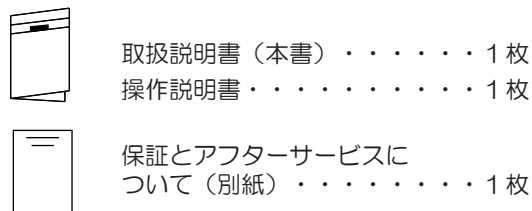
各部の名称

(説明図は、一部省略抽象化した図です。)
(不足している部品などがあった場合は、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

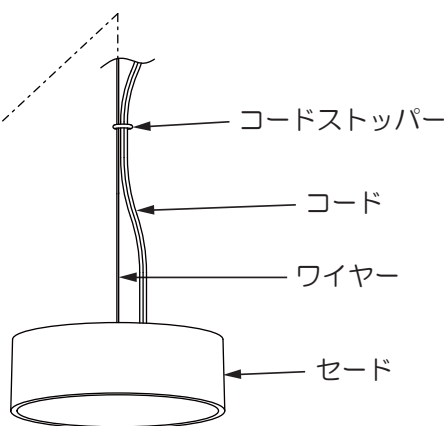
【器具構成図】



【付属品】



※コードとワイヤーの位置関係は左図のようにして、フランジを固定してください。
コードが収納しやすくなります。



取り付けかた

⚠注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

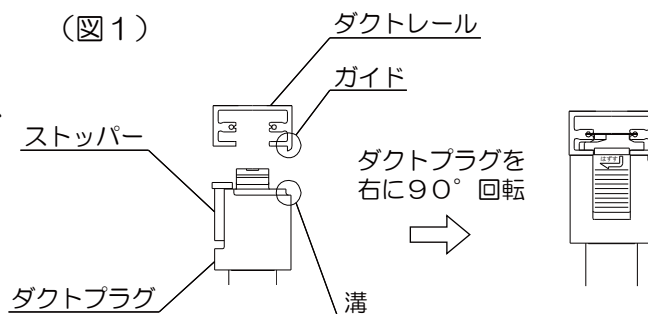
⚠警告 器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具落下によるけがや火災、感電事故の原因となることがあります。

- 器具を取り付ける前に
フランジ固定ナットを緩め、フランジをおろします。

1. 器具を取り付けます。(図1)

- ①ライティングダクトへダクトプラグを取り付けます。
 - ②ダクトレールのガイドにプラグの溝を合わせて差込み、プラグを右に90°回して取り付けます。
この時、ストッパーがライティングダクトに確実にハマっている事を確認してください。
- ライティングダクトとの組み合わせにより点灯しづらい場合は、照明器具の取り付け位置をずらしてご使用ください。

⚠注意 ダクトプラグは取り付け方向が決まっています。
方向を確認して無理に取り付けしないでください。
★ダクトプラグ、ダクトレールの破損、器具落下の原因となります。



2. フランジを固定します。(図2)

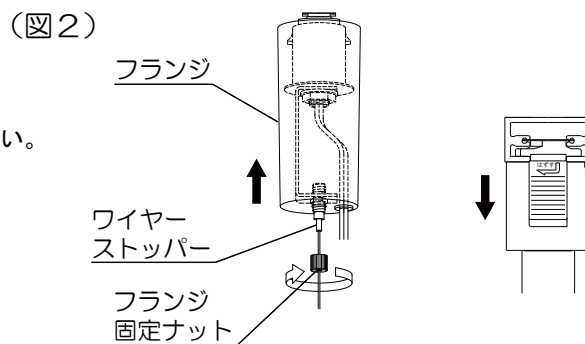
フランジの穴をワイヤーストッパーに合わせてはめ込み、フランジ固定ナットを締めフランジを固定します。

※コードとワイヤーの位置関係は【器具構成図】を参照してください。
コードが収納しやすくなります。

△注意 器具を取り外す場合は以下の手順で行ってください。

- ①フランジ固定ナットを緩め、フランジを下ろします。
- ②ダクトプラグのストッパーを押し下げながら、左へ90°回転させてください。

★無理な取りはずし方法は感電事故の原因となります。



吊り下げ高さの調整 **△注意** 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

ワイヤー調整金具を調節してお好みの高さに設定します。
最大高=1.2m(出荷時のもの) ~ 最小高=0.5m

●ワイヤーストッパー、コードの調節のしかた

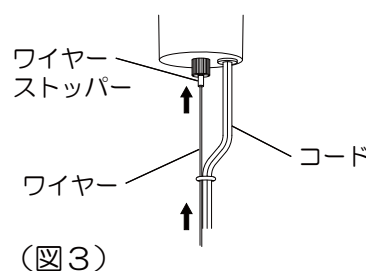
a) 短くする場合

【ワイヤー】(図3)

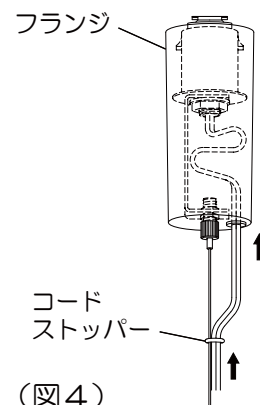
- ①ワイヤーストッパーの先端部分を押し上げながらストッパーの中にワイヤーを真っ直ぐに押し込みます。
- ②適当な位置で先端部を離すと固定されます。

【コード】(図4)

- ①フランジの中へコードを真っ直ぐに押し込みます。コードの長さに合わせてコードストッパーを適当な位置に移動しコードの遊びを調整してください。



(図3)



(図4)

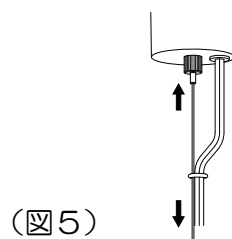
b) 長くする場合

【ワイヤー】(図5)

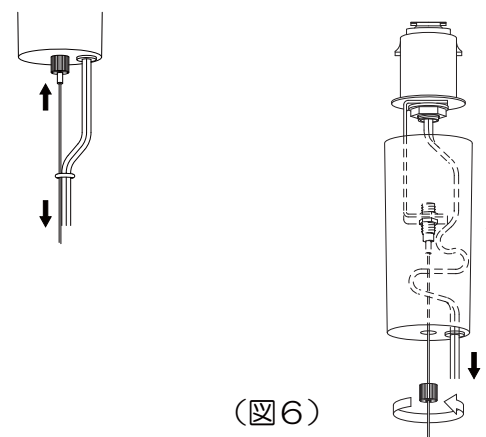
- ①ワイヤーストッパーの先端部分を押し上げながらワイヤーを真下に引き出します。
- ②適当な位置で先端部を離すと固定されます。

【コード】(図6)

- ①フランジ固定ナットを緩め、フランジを下ろします。
- ②コードを真っ直ぐにゆっくりと下へ引っ張ります。コードの長さに合わせてコードストッパーを適当な位置に移動しコードの遊びを調整してください。



(図5)



(図6)

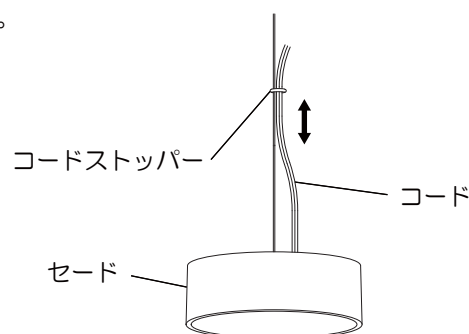
セードの傾きの調整

●セードが傾いて水平にならない場合、下記の方法で調整してください。

- ①コードストッパーに近い位置でコードを持ち、セードが水平になるようコードをゆっくりと上下に動かして調整してください。

△注意 コードは強く引っ張らないでください。

★コードの断線により火災、感電・不点の原因となります。



スイッチ操作

●壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

※無線スイッチ(別売)・調光スイッチの登録・操作方法に関しては、別紙の「操作説明書」を参照してください。

お手入れについて

⚠ 警 告

必ずスイッチを切ってから取りかかってください。

★スイッチを入れたまま行くと感電のおそれがあります。

1年に1回は異常がないか点検してください。また3年に1回は専門業者、有資格者による点検を依頼してください。

★点検を行わず長時間使用し続けると、火災、感電のおそれがあります。

スイッチを切った直後のランプ類は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。

★火傷のおそれがあります。

濡れた手で触らないでください。

★感電のおそれがあります。

シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

★器具に傷をつけたり、変色や変質のおそれがあります。

■お手入れのしかた

こまめに清掃をお願いします。照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。

定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

布、紙、木部分については、乾いた柔らかい布か、ハケ、ブラシ等で軽く表面をはらってください。

その他の部分は、柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。

その後、洗剤分を拭き取り、最後に乾いた布で水分を完全に拭き取ります。

■LEDの光源ユニットについて

LEDの光源寿命(※)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、

全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

・この器具は、構造上お客様が適合ランプまたは光源ユニットを交換することができません。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番(器具本体のラベルでご確認ください)、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。



操作説明書

(EnOcean仕様)

ご使用になられる前に必ずお読みください

本操作説明書はEnOcean対応照明器具 (PD-2906-LL/PD-2907-LL/PD-2908-LL) について記載します。

■無線スイッチ (4ボタンタイプ) との設定方法について 対象商品 (EnOcean対応の照明器具のみ)

EnOcean対応照明器具 (以下、本製品) のシーン (記憶された各照明器具の明るさ) を呼び出すためには、EnOcean無線スイッチ (以下、無線スイッチ) が必要です。

無線スイッチを本製品に登録する事で、シーンを呼び出せるようになります。

ここでは本製品と無線スイッチの登録、解除、シーン編集の方法をご説明します。

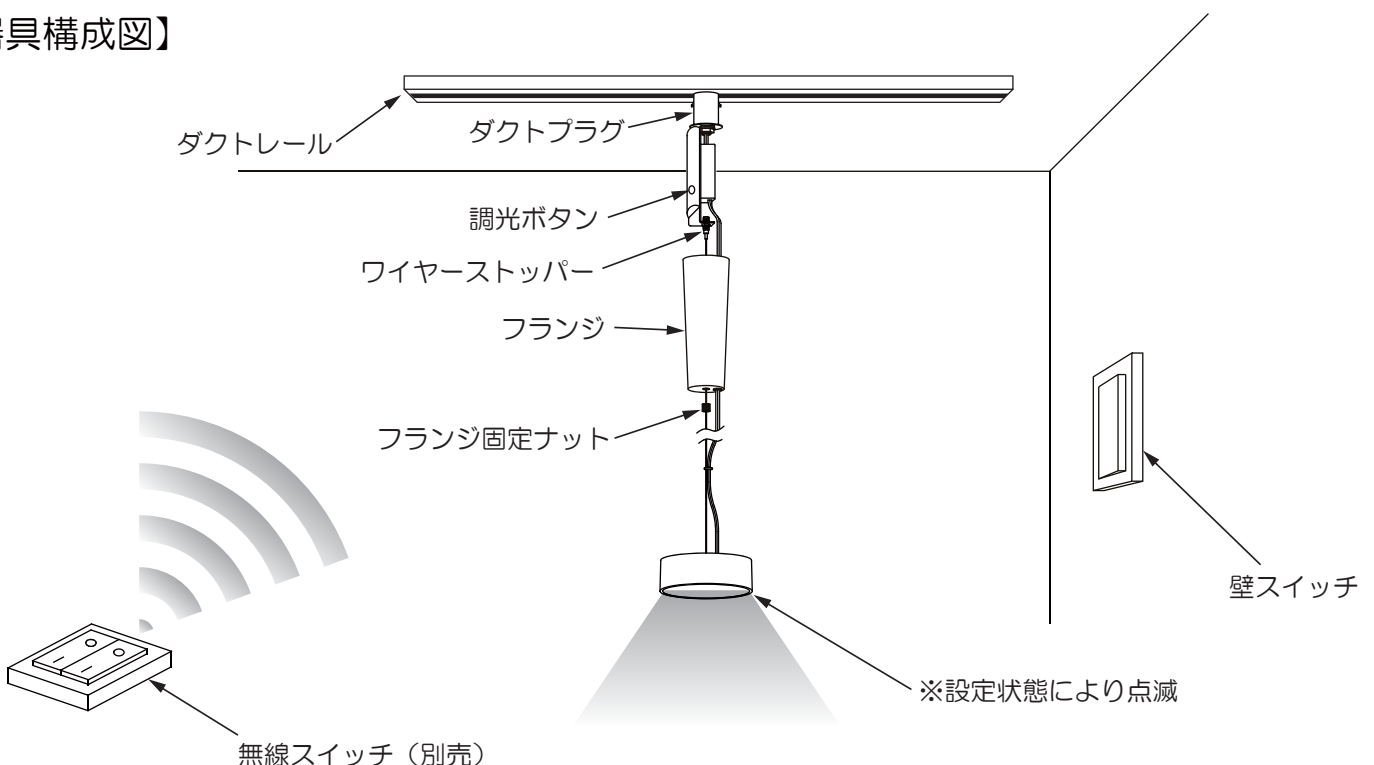
登録、解除、シーン編集は本説明書に従い確実に行ってください。

◇基本事項

- 無線スイッチ登録前に本製品を点灯した場合、全ての照明器具が明るさ100%で点灯します。
- 本製品は、ラストメモリー機能を有しているため、壁スイッチでOFF-ONをした場合、直前のシーンが再生されます。
- 調光ボタン・無線スイッチで消灯状態にしていた場合、壁スイッチがONでもラストメモリー機能によって消灯状態が再生されますが故障ではありません。調光ボタン・無線スイッチを再度操作する事で点灯させることができます。
- 無線スイッチを登録する場合、本製品との距離は5m以内で操作してください。
- 1つの無線スイッチに複数台の照明器具を登録出来ます。
- 1つの照明器具に複数の無線スイッチを登録出来ます。(最大登録数:32個まで)
- ここでは1台ずつ登録の説明をしますが、1度に複数台をダクトレールに付けて、同時に登録する事も可能です。
- 1つの無線スイッチに複数の照明器具を登録する場合、各照明器具ごとに以下の手順に従って設定を行ってください。
- 本製品は初期設定で4つのシーンを持ち、それらのシーンは登録された無線スイッチで呼び出せます。
- 初期設定の4つのシーンは以下になります。(図2参照)
■ボタン①:20%点灯 ■ボタン②:50%点灯 ■ボタン③:100%点灯 ■ボタン④:消灯
- 初期設定の4つのシーンは任意に変更が出来ます。(シーンの数を増やすことは出来ません。)
- 無線スイッチのボタン1つにつき、1つのシーンを呼び出すことが出来ます。
- 複数の無線スイッチを用意した場合も、それぞれの異なる無線スイッチが呼び出せるのは、共通した4つの照明シーンのみです。(例:無線スイッチAのボタン①と、無線スイッチBのボタン①は同一のシーンを呼び出します。)

最大登録器具台数	制限なし (ただし、遮へい物の無い見通しの良い場所で最大30mまで離して使えます)
最大登録無線スイッチ台数	32個まで

【器具構成図】



1. 本製品と無線スイッチ（別売）の登録方法

任意の無線スイッチを本製品に登録する為の手順です。登録作業（1-1～1-3）を行ってください。

1-1 準備

本製品をダクトレールに取り付けます。壁スイッチをONにすると、本製品が100%点灯します。

動作確認：本製品が100%点灯します。

1-2 登録する(図1参照)

壁スイッチがONの状態、無線スイッチのボタン①と④を同時に1クリックし、次にボタン②と③同時に1クリックします。

本製品が100%点灯した状態で3回点滅し登録が完了します。

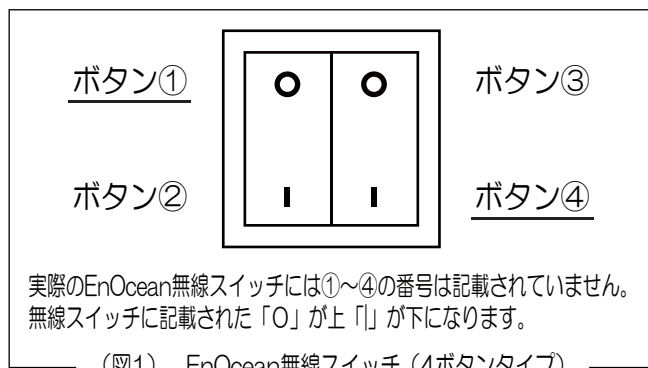
動作確認：登録が完了した場合、照明器具が100%点灯で3回点滅します。

※注意：本製品が100%点灯で3回点滅していない場合は登録されていません。その場合、壁スイッチをOFFにして、1-1からやり直して下さい。

1-3 登録の確認をする

(図2)を参照し、あらかじめ登録されている照明シーンを再現してみてください。

各シーンが再現できれば登録が完了しました。



2. 照明シーンの編集方法

本製品が記憶している4つの照明シーンを任意に編集する為の手順です。ここでは、例として無線スイッチのボタン①に割り当てられた照明シーンを「初期設定20%点灯の照明シーン」から「10%点灯の照明シーン」に編集する方法について説明します。

複数の照明シーンを編集したい場合、無線スイッチの各ボタン（①～④）に対して照明シーンの編集作業（3-1～3-3）を行ってください。

3-1 準備

本製品をダクトレールに取り付けます。フランジ固定ナットを緩め、フランジを外し「調光ボタン」を押せる状態にします。【器具構成図】参照ください。

壁スイッチをONにすると、本製品が100%点灯します。無線スイッチのボタン①(図2参照)を押したままにします。

※注意：無線スイッチのボタン①を押している間に行う

照明シーン1の編集が、既存の照明シーン1に上書きされます。

既存の照明シーン1は上書きされると、上書き前の状態には戻せません。

3-2 照明シーンを編集する

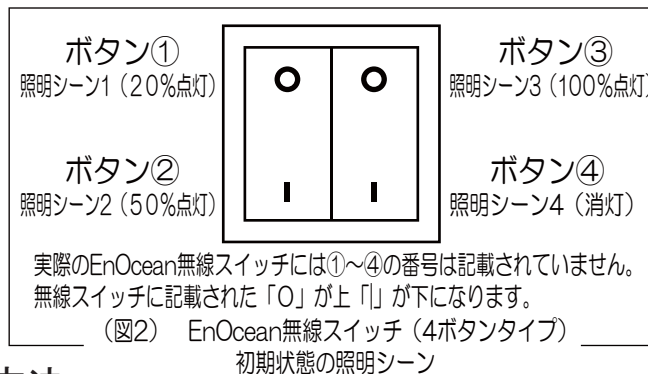
無線スイッチのボタン①を押したまま、本製品の「調光ボタン」を使って10%点灯の照明シーンを作ります。

明るさの操作方法については、「■明るさの操作について」を参照ください。

3-3 照明シーンの編集を終了する

ボタン①から指を離します。

無線スイッチから指を離した時の点灯状態が照明シーン1に上書きされます。



3. 本製品と無線スイッチ（別売）の登録解除方法

登録された無線スイッチを本製品から解除する為の手順です。（2-1～2-2）を行ってください。

2-1 準備

本製品をダクトレールに取り付けます。壁スイッチをONにすると、本製品が100%点灯します。

動作確認：本製品が100%点灯します。

2-2 登録を解除する(図1参照)

壁スイッチがONの状態、無線スイッチのボタン①と④を同時に1クリックし、次にボタン②と③同時に1クリックし、さらに①と④を同時に1クリックします。本製品が100%点灯した状態で5回点滅し登録が解除されます。

動作確認：登録が解除された場合、本製品が100%点灯した状態で5回点滅します。

※注意：本製品が100%点灯した状態で5回点滅していない場合は登録が解除されていません。

その場合、壁スイッチをOFFにして、2-1からやり直して下さい。

■明るさの操作について

◇明るさの変更方法

「調光ボタン」を長押し（1秒以上）すると、照明の明るさが1秒ごとに明るくなっていきます。

「調光ボタン」を長押ししている間は、9段階（消灯を含む）で明るさが変化します。

「調光ボタン」から指を離した時、明るさの変化が止まり、ラストメモリーとして記憶されます。

明るさの変化の仕方

明るさ	0% → 10% → 20% → 30% → 50% → 60% → 70% → 90% → 100%
	↑ 長押し（1秒以上）

◇100%点灯にする方法

「調光ボタン」をダブルクリック（早く2回押し）すると、現在の明るさから100%の明るさになります。

明るさの変化の仕方

明るさ	0% → 10% → 20% → 30% → 50% → 60% → 70% → 90% → 100%
	↑ 任意の明るさでダブルクリック（早く2回押し）